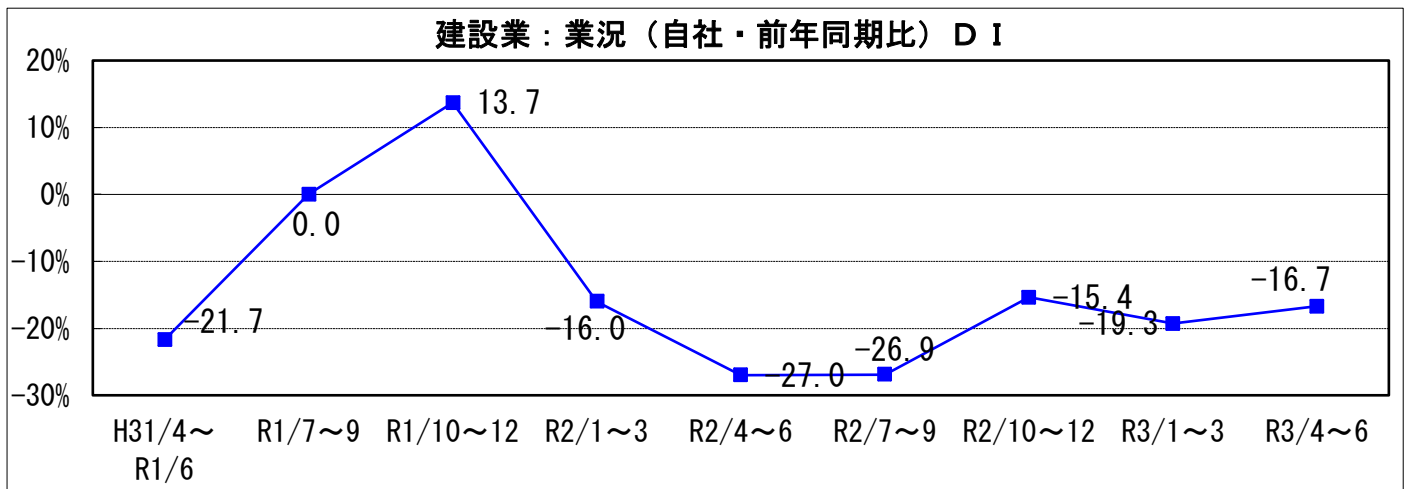


3. 建設業の動向

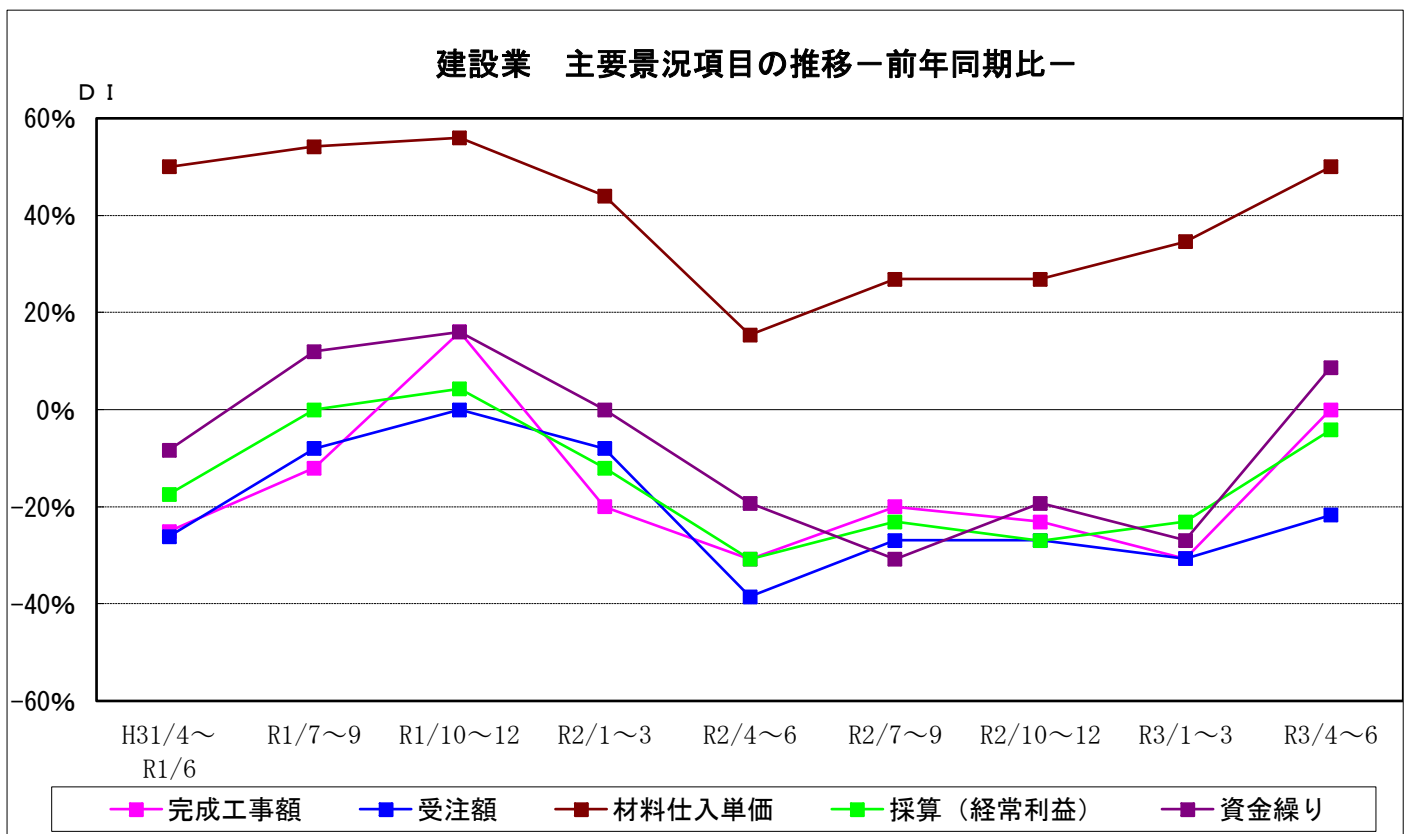
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲16.7。前期の▲19.3から2.6ポイント上昇となった。
来期の見通しは、▲29.3と低下する予想である。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

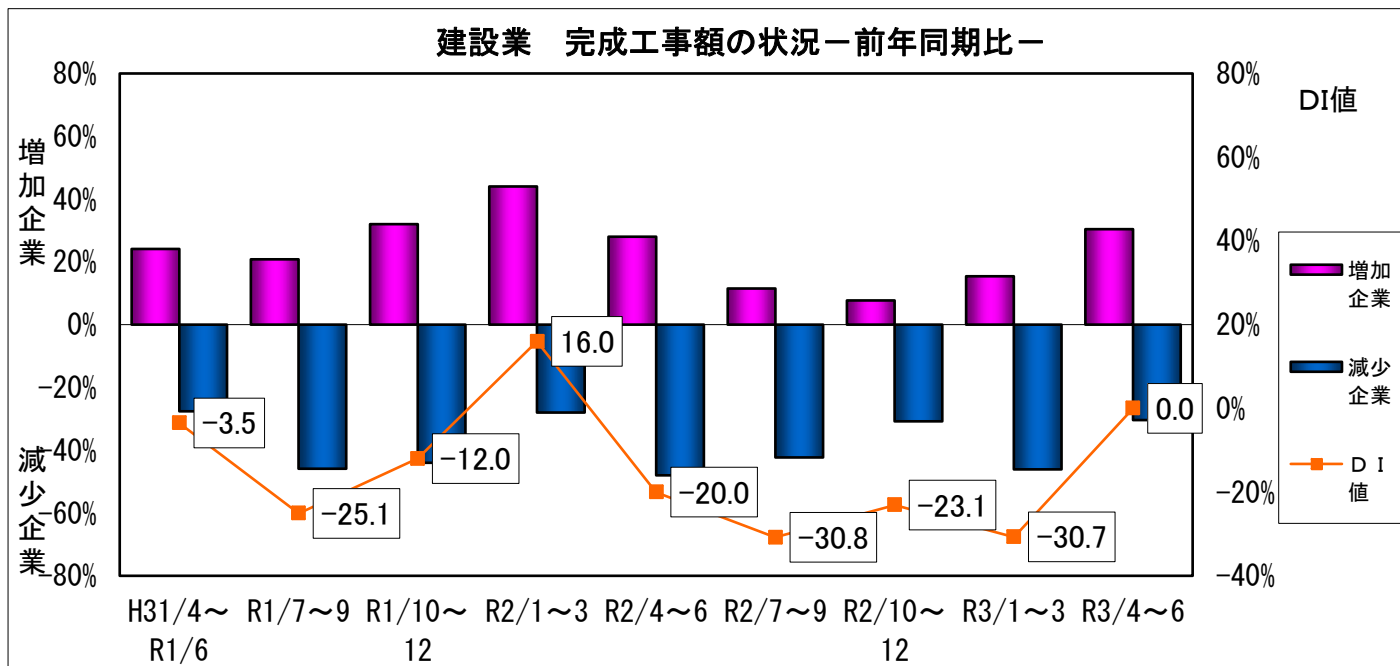
	前々期 (R2年10月~12月)	前期(A) (R3年1月~3月)	今期(B) (R3年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲23.1	▲30.7	▲0.0	▲30.7	▲8.4
受注額	▲26.9	▲30.7	▲21.7	▲9.0	▲21.8
材料仕入単価	26.9	34.6	50.0	15.4	58.3
採算（経常利益）	▲27.0	▲23.1	▲4.2	18.9	▲33.4
資金繰り	▲19.3	▲26.9	8.7	35.6	▲21.8



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

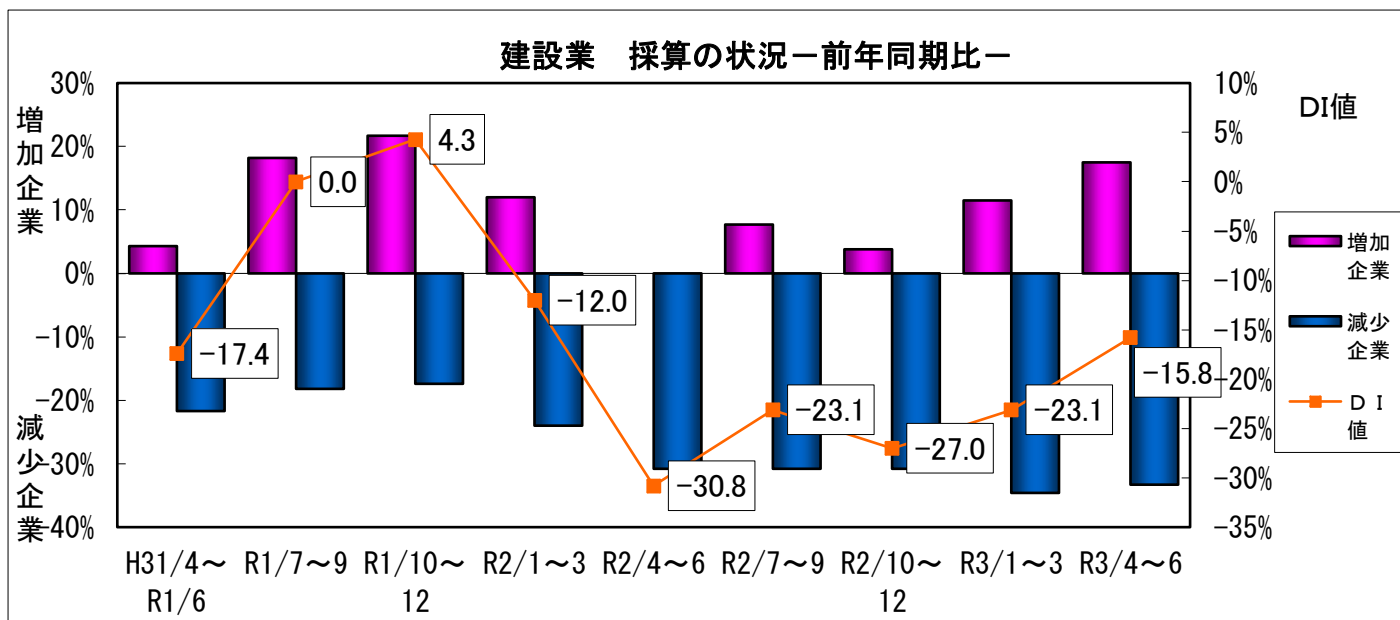
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I 値は0.0。前期の▲30.7 から 30.7 ポイントと大幅な上昇となった。
来期の見通しは▲8.4 と低下する予想である。



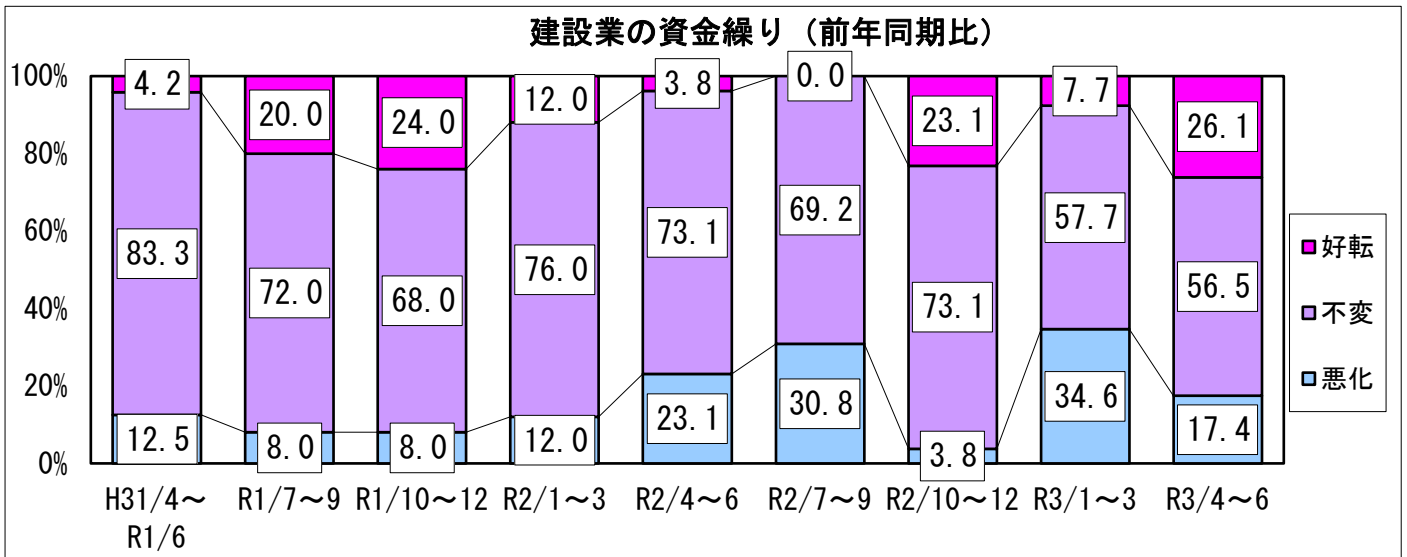
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値▲15.8。前期の▲23.1 から 7.3 ポイント上昇した。
来期の見通しは、▲33.4 と低下予想である。



③資金繰り (前年同期比)

今期の資金繰りD I 値は8.7。前期の▲26.9 から 35.6 ポイントと大幅な上昇となった。
来期の見通しは、▲21.8 と低下予想である。

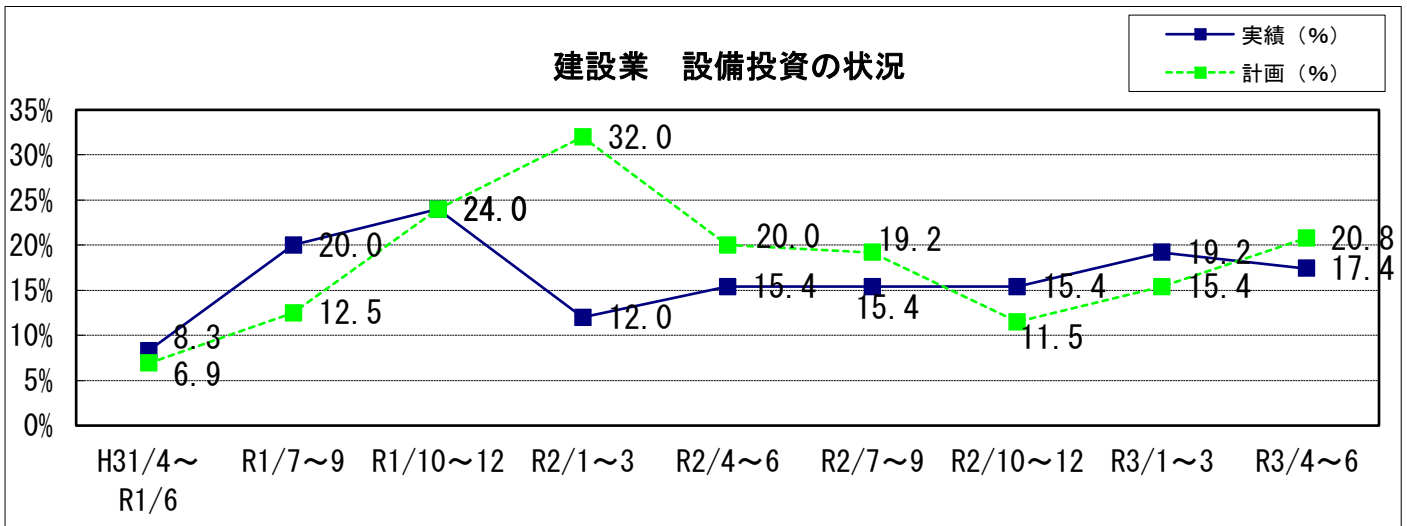


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	5	1	0	3	2	1	3	0	0	21
(%)	19.2	20.0	0.0	60.0	40.0	20.0	60.0	0.0	0.0	80.8
今期実施 (実数)	4	0	0	1	2	0	0	0	1	19
(%)	17.4	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	82.6
来期計画 (実数)	5	1	2	1	1	0	0	0	1	19
(%)	20.8	20.0	40.0	25.0	20.0	0.0	0.0	0.0	25.0	79.2

今期設備投資を実施した企業は4社（17.4%）。前期（令和3年1月～3月期）の実施企業5社（19.2%）から1社減。来期は5社（20.8%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 21.2%→今期 52.2%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 17.4%→今期 30.4%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 47.8%→今期 26.1%)

となっている。

建設業 経営上の問題点の状況

